

朝来市和田山町竹田の国史跡・竹田城跡が、静岡市のNPO法人地域活性化支援センターから「恋人の聖地」に認定された。雲海に覆われた「天空の城」の光景が「プロポーズの場所になさわしい」と評価された。5月31日に東京都内で開かれた式典で、申請した朝来市商工会の古屋耕三会長(61)が、選定委員から認定の銘板を受け取った。

恋人の聖地は、若者の晩婚・未婚化対策と地域活性化を目指し、プロポーズにふさわしい観光スポットを選定する事業。2006年から、全国で111カ所が選ばれた。竹田城跡は県内で、浜坂県民サンビーチ(新温泉町)や神戸ハーバーランド(中央区)などに続き4例目。

城跡の人気を、麓の城下町の活性化や地元雇用創出につなげようと、朝来市商工会は昨年夏から準備を進め今年1月に申請。デザイナー桂由美

# 竹田城跡「恋人の聖地」に

## 県内4例目 雲海の光景に高い評価

さんから選定委員から、雲海の光景が「ロマンチックな場所」と高く評価された。

同市商工会の丸岡史宏さん(26)は「若者やカップルも増えた。城跡内のベンチを「恋人の椅子」としてPRし、結婚式の構想も練っていききたい」と話す。受け取った銘板の活用法も検討している。地域活性化支援センターは、ホームページで竹田城跡の観光情報やデートの際のモデルコースなどを紹介する。

(竹本拓也)



受け取った銘板を手にする朝来市商工会の古屋耕三会長(中央)＝東京都千代田区(朝来市商工会提供)